

DC日米協会アニュアルディナー

日米友好の絆を祝う



ミネタ元米運輸長官 (左端) が乾杯の首頭

ワシントンDC日米協会は11月20日、33周年のアニュアルディナーとサイレントオークションをフェアモントホテルで開催した。日米協会のプログラムを支援する組織や会社から約250人が出席し、長く続く日米友好の絆を祝った。

アニュアルディナーは日本とアメリカの最も優れたリーダーを礼遇してきた。今年も、日米協会のライアン・シェイファ会長の開会の挨拶に始まり、杉山晋輔駐米大使による歓迎の辞で会場は和やかな空気に包まれた。

アジア情勢の専門家である調査員でもあるエマ・チ

エンレット・エイブリー氏の司会でパネルディスカッション「日米関係について」ワシントンDCの専門家の視点から」が行われた。パネラーには、新アメリカ安全保障センター(CNA)会長リチャード・フォテンティン氏、外交問題評議会(CFR) 上席研究員シエラ・スミス氏、戦略国際問題研究所(CSIS) 日本議長マイク・グリーン氏を迎えた。

マーシャルグリーン賞はジェイムス・ズムワルト協会理事長により河野太郎防衛大臣に贈られた。残念ながら河野氏は公務のため出席できなかった。この賞は日米の友好な関係において持続的で顕著な貢献をした個人あるいは団体を表彰するため、また日米の住

民の相互理解を深めるために日米協会によって2011年に設立された。今年度は、ジョン&ヒロコ・マロット・リーダーシップ賞を初めて授与することになり、個人ではジョシユア・ピーティ氏が、団体ではキズナ・アコース・カルチャーズが受賞した。協会では今後も毎年、日米の友好な相互理解と日米の次世代の若者たちの交流において顕著な活躍をしている個人または団体にこの賞を贈る予定だ。

ディナーは元米運輸長官ノーマン・ミネタ氏による乾杯の首頭で盛況のうちに終わった。ディナーとサイレントオークションの収益金は日米協会の様々な教育・文化活動資金に充てられる。

日本食レストランが今年もお節の注文受付中

早くも年の瀬を聞く頃となり、DCエリアの日本食レストランではお節料理の注文を受け付けている。

●居酒屋ブルーオーシャン (9440 Main Street, Fairfax, VA 22031)
お節弁当(約40種類) 110ドル(税別)。注文締め

切りは12月29日(日)、受け渡しは12月31日(火)午後1時以降、店にて。注文は電話703・425・7555またはファックス703・425・8274まで。
www.blueoceanjapanese.com

●日本料理ゆず (7345 Wisconsin Ave., Bethesda, MD 20814)
6十二段重(18センチ)は195ドル(税別)。新年の寿司(にぎり32個と巻物3個)は100ドル(税別)。受け渡しは12月31日(火)午後2時から8時までに店にて受け取る。注文は店頭電話240・800・4807もしくはEメール



どもたちを助けられる!と喜ぶ3年生や「家でお母さんにおにぎりは何か教えてあげた」と笑顔で話す5年生もいた。

●寿司Taro (1503 17th Street, NW, Washington, DC 20036)
お節二段重(箱付き)風呂敷込み)280ドル+10%タックス。注文は12月24日(火)締め切り。受け渡しは12月31日(火)の午後12時から8時までに店にて受け取る。クレジットカード払い可。電話202・462・8999、Eメールsushi@sushitaro.com
www.sushitaro.comから注文書のダウンロードができる。

おにぎりアクションに写真30万枚

160万食の給食を届ける

世界の食料問題の解決に取り組む日本発のNPO法人テンプル・フォー・ツィ(TEMPLE)は「おにぎりアクション2019」を10月7日から11月20日まで実施した。おにぎりの写真をSNSや特設サイトに投稿すると、参加者に代わりJCCフアンド/ニューヨーク日本商工会議所やJFCインターナショナル/錦などの協賛団体が1枚につき給食5食分を寄付し、アフリカ及びアメリカ国内の支援を

必要とする子どもたちに給食が届けられる仕組み。45日間のキャンペーン期間中、前年の1.5倍となる約30万枚の写真が寄せられた。8千人の子どもたち1年分にあたる約160万食の給食を届ける。写真のなかからベスト・オブ・ベストにおにぎり賞が選定され、特設サイト <https://onigiri.action.com/en/> で公開されている。

「おにぎりアクション」ワークショップを開催し、商工会理事とともに子供たちがおにぎりを作り、おにぎりアクションに参加した。11月14日には、日本大使館とTEMPLEが協働でDCの小学校で「おにぎりワークショップ」を開催し、生徒たちと一緒に「もったいない精神」も学んだ。

DC、メリーランド州、バージニア州では、DC公立学校区とのタイアップや、バージニア州日本語クラス教師の協力により、約25校の公立校が授業の一環としておにぎりアクションに参加。JFCインターナショナルより2000人分の錦米やおにぎりの具材が寄付され、生徒たちはおにぎりを作りながら、世界の飢餓・食料問題と日本の食育と食文化を学習した。

VA州フェアファックス郡フォックスミル小学校で11月14日、15日、今年で3回目となる「おにぎりアクション」が開催された。全校生徒が「おにぎりアクション」に参加しているフォックスミル小学校では、日本の代表的なコンフォートフード、おにぎりの文化とイベント参加の意義が保護者による日本文化委員会によって紹介され、全校生徒がおにぎり作りを楽しんだ。

初めておにぎり作り挑戦した幼稚園生はのりの香りに驚いたり、のりで作ったおにぎりパンダをおいしそうに食べたりしていた。ぼくが100枚写真を撮ったら、もつとたくさんの子

共交通機関の公平性や利用率を図る市場実験を行うと発表された。同グループの調査によると、低収入者ほど鉄道を避け安いバスで移動する傾向にある。ランダムに選ばれた2500人に、乗り放題、一部割引、現状通りのどれかのSmartRideカードを配布し、このように交通手段を選ぶかを6ヶ月に渡り記録する。

ペットに温かいホリデーをVA州スプリングフィールド

VA州スプリングフィールドの自動車ディーラーPriority Toyotaがホリデー期間中、手続き料金を医療費を里親に代わり負担する「Home for the Pawdays」を実施し、里親支援事業者 Animal Welfare League of Alexandriaに保護されている月齢6カ月以上のペットを対象、昨年は100匹の動物が新しい家族のもとへ引き取られた。今年の実施期間は20年1月2日まで。



DCパブリックスクールにて

ワシントン日本商工会財団からの寄付は、ワシントンDCの貧困地区にある小学校に、新鮮な野菜やフルーツを使ったヘルシーな学校給食を提供するための支援として届けられた。また10月28日に、支援先の学校の1年生20名を対象

「もったいない」を学んだり貧困地区に給食提供など

国立動物園にキリアム誕生

北斎展開催

SmartRide配布で市場実験

ペットに温かいホリデーをVA州スプリングフィールド

VA州スプリングフィールド

ワシントン日本語学校

ワシントン日本語学校は、1958年に創立された世界で最初の海外補習校です。週一回、土曜の活動で、幼稚園から高等部までの一貫教育を通し、日本語力の維持・向上、及び日本文化の習得を目的としています。

日頃から本校の活動にご理解、ご支援賜る皆様に改めて心よりお礼申し上げます。引き続き何卒よろしくお願いたします。

2020年度新規入学生募集

2020年4月入学生の募集を開始しました。本校ホームページ www.wjls.org 「2020(令和2)年度新規入学生受付開始」よりお申し込みください。

ALASKA

新年のご旅行限定! 驚きの値段! 問い合わせ締め切り間近、急げ!

料金: 大人\$399~
*上記は大人4名1室の場合のお1人様料金

開催日: 2020年1月7日~2020年1月16日までのご出発

ツアー料金に含まれるサービス:
フェアバンクス空港からチェナ温泉リゾートへの往復シャトル、チェナ温泉3泊分の宿泊費用、チェナ温泉温泉施設利用料

集合場所: フェアバンクス空港

アラスカまでのフライトもお手配します!!

877-489-4223
*お申し込みは弊社ツアー課まで! 自動音声に従って4を押してください。
Email: tour@jace-usa.com